

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大学生と県内企業をつなぐ「大しごと一く in 信州 2020」の開催と併催企画による人材やプログラムマッチングの仕組みの構築
事業主体 (連絡先)	信州大学 キャリア教育・サポートセンター センター長 平野 吉直 電話番号 0263-37-3348 / E-mail career@shinshu-u.ac.jp
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,979,900 円 (うち支援金: 2,351,000 円)

本事業は、信州大学をはじめとする県内大学生や高校生が、県内企業や地域を知る機会がなく進路選択をしている状況を改善し、低年次から地域企業を知る機会を持つことで人材の地域定着を促進する対話企画「大しごと一く in 信州 2020」を実施するものである。2020年は、COVID-19の感染防止のため、対面ではなくオンラインで11月7日に開催し、企業・自治体38団体、11のテーマと企業紹介ルームで、仕事の面白さや活動を伝えるルームを用意した。ターゲットの学生に合わせた併催企画をして、オンラインながら来場者数の獲得に努めた。その一環として、プログラム構築や広報を兼ねた社会人と学生のトーク企画「しごと一く」をこちらでも毎月オンラインで開催した。



【当日の様子】

【目標・ねらい】

- ①来場者数 1,000名(企業80団体、学生20団体)
- ②松本地域内の企業の参加率 22社(目標:35社)
- ③しごと一くを毎月開催を達成(4月～11月)
- ④県内企業を知る機会に繋げる(認知度4.4倍)

事業効果

- ①ZOOMの参加カウントで615人の来場者(ルーム参加人数で550名、複数のルームの参加を含む)。オンライン申込となり、高校生の参加が募れなかった。
- ②オンラインでの参加企業は、38社(目標40社)となった。松本地域内の参加企業は13社(36.1% 2019年度:36.7%)であった。
- 参加者は、キャリア関連のゼミの受講生が86.4%で、自主参加は13.6%(昨年8%)と非常に少なく、自主参加の来場者数が伸びなかった。
- ③参加人数実績:学生232名、社会人34名、企業21社、総勢266名が参加した。
- ④参加学生の満足度は、とても満足している/ある程度満足していると回答した学生は計96%の満足度、出展した企業も同様に94.7%と高い満足度となった。

※自己評価【A】

【理由】

来場者数の目標1,000名が達成できなかったが、Covid-19の影響がありながらも、オンラインを活用し、企業にも次の採用活動の可能性を示せたこと、また、今回のイベントの可能性を上げられたことは成果として大きかった。今後さらに広報周知を強化し、学生参加者を増やしていきたい。

今後の取り組み

今回の大しごと一くでは、他大学からの参加もあった。今年オンラインでの開催が実現できたことで、次年度、オンラインと対面の併催を検討し、遠方でも参加できる仕組みにしていきたい。それにあった県内企業にもオンラインの活用機会を提供していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)